

理研NMR施設利用報告書
(成果非占有)

課題受付番号： 13-200-062

2021年 1月 15日

| | | |
|-----------------|---|--|
| 利用機関名 | 青山学院大学 | |
| 実施部署名 | 理工学部化学・生命科学科 | |
| 実施責任者管理職名・氏名 | 教授 木村 純二 | |
| 実施部署所在地 | | |
| 実施部署連絡先 | | |
| 利用課題名 (利用目的) | Natural products from the brown alga | |
| 利用実施時期及び期間 | <p style="text-align: center;">2013年 12月 10日～ 2014年 9月 26日</p> <p>総利用日数：3</p> <p style="text-align: center;">(当初計画どおり)・当初計画変更</p> <p>(変更理由)</p> | |
| 利用施設 | NMR 装置 (該当 部分に ○) | <p>利用装置①</p> <p>・ ()600MHz、()700MHz、()800MHz、(<input checked="" type="radio"/>)900MHz</p> <p>()低温プローブ付 ()固体プローブ付</p> <p>()サンプルチェンジャー付</p> <p>利用期間1： 2013年 12月 10日～ 2013年 12月 10日</p> <p>利用期間2： 2014年 9月 24日～ 2014年 9月 25日</p> <p>利用期間3： 年 月 日～ 年 月 日</p> |
| | | <p>利用装置②</p> <p>・ ()600MHz、()700MHz、()800MHz、()900MHz</p> <p>()低温プローブ付 ()固体プローブ付</p> |

| | |
|----------------------|--|
| | <p>() サンプルチェンジャー付</p> <p>利用期間 1 : 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>利用期間 2 : 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>利用期間 3 : 年 月 日 ~ 年 月 日</p> |
| | <p>利用装置③</p> <p>・ () 600MHz、() 700MHz、() 800MHz、() 900MHz</p> <p>() 低温プローブ付 () 固体プローブ付</p> <p>() サンプルチェンジャー付</p> <p>利用期間 1 : 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>利用期間 2 : 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>利用期間 3 : 年 月 日 ~ 年 月 日</p> |
| 立体構造解析 パイプ ライン | <p>・ 発現確認 : 利用回数 回</p> |
| | <p>・ フォールド判定 : 利用回数 回</p> |
| | <p>・ 大量調製 : 利用回数 回</p> |
| | <p>・ 構造決定 : 利用回数 回</p> |
| 利用満足度 (複数選択不可) | <p>(O) 大いに満足、() ほぼ満足、() やや不満、 () 大いに不満</p> |

| | | |
|-------|--------------------------|---|
| 成果の概要 | 実施内容 | <p>※実際に行った作業の概要について記載してください。</p> <p>感染症リーシュマニアに対し強い抑制効果を示す天然化合物の構造解析を行った。</p> <p>大学には JEOL500MHz-NMR を所有していたが、装置の故障があったこと、および複雑な立体構造を検討するため貴研究所の高感度な NMR の利用が必要であった。</p> <p>実際には主に調製した試料の各種二次元測定 (HMQC, HMBC, NOESY) を依頼した。</p> |
| | 本課題により得られた成果、当初目標と結果との比較 | <p>※本課題実施の結果得られた成果および当初目標に対する達成度などについて記載してください。</p> <p>目的とした活性化合物の構造を解析することができ、第 56 回天然物有機化合物討論会に発表することができた (添付資料)。</p> <p>山崎 正稔, 長田 康孝, 三條場 千寿, 後藤 康之, 松本 芳嗣, 桑原 俊介, 林 文晶, 木村 純二</p> <p>“アズマネジモクより得られた強い抗リーシュマニア活性を示すテルペノイドキノンの構造と活性評価” 天然有機化合物討論会講演要旨集 2014 年 56 巻 p-33 2018/07/19</p> <p>DOI https://doi.org/10.24496/tennenyuki.56.0_Poster33</p> |

| | | |
|--------------------------------|-----------------|---|
| | <p>今後の展開、課題</p> | <p>※本課題の結果を踏まえた今後の展開方針および目的達成に向けた今後の課題などについて記載してください。</p> <p>共同研究者が研究を継続している。</p> |
| <p>成果公開延期の希望の有無</p> | | <p>() あり : (○) なし 「あり」の場合理由：</p> |
| <p>利用における感想 (改善要望等を含む)</p> | | <p>※本施設を利用して良かった点、改善してほしい点、提案事項など、施設利用の感想を記載してください。</p> <p>貴施設、対応に大いに満足している。</p> |
| <p>利用周辺環境に関する希望</p> | | <p>特になし。</p> |

| | |
|-----------------------|--|
| | |
| <p>今後の利用形態の予定</p> | <p>() 成果の非公開を前提とした「外部利用」(有料)を考えている。</p> <p>() その他理研との共同研究等</p> <p>具体的に 特になし。</p> |
| <p>今後期待するその他のサービス</p> | <p>() NMR 装置利用の教育 (これまで NMR を使用した経験の無い方に対する教育も含む)</p> <p>() NMR 装置利用の技術的なサポート</p> <p>() その他</p> <p>具体的に</p> |
| <p>その他</p> | <p>(上記の項目以外でご意見等お願いします。)</p> <p>有難うございました。</p> |

本報告書については、印刷または必要な編集・加工を行った上で公開します。また、別途開催予定の成果報告会・シンポジウムや委託事業報告書作成時において、本報告書の内容についての資料作成または発表をお願いする場合があります。

特許取得等の理由により公開の延期を希望する場合は必ず事前にご相談ください。